

【ビジョン】

☆公平で公正な人。

- ・幅広く偏らない選書ができる。
- ・利用者の誰にも公平に奉仕する。

☆仕事に誇りを持っている。

- ・図書館は過去の知的財産を蓄積し、歴史の証言をするところ。未来への方向づけのヒントをくれるところ。社会の不公平をならしてくれるところ。その大事な役割を担っているという自覚がある。
- ・本には命が有ること。図書館は民主主義のとりでであることを知っている。
- ・ない資料、分からないレファレンスをとことん探すプロ意識がある。

【能力】

☆資料に詳しい。

- ・利用者のニーズに的確に対応できる。
- ・資料の整理・分類が上手にできる。
- ・全部の資料に詳しくればベストだが、歴史、法律など自分の得意分野がある。
- ・社会の動きを先取りする先見性がある。

☆地域の動きに敏感で地域を知っている。

- ・今の地域社会の特徴や問題を知り、先取りし、発信できる。
- ・メディアからもれるような地域の情報も集める努力をする。  
(チラシ・生活情報・提言・ミニコミ誌など)
- ・来ない人、来れない人を呼ぶ努力をする。(広報。施設、保健所、病院、学校訪問など)
- ・地域や利用者へのリサーチができる。
- ・図書館の中にこもらず、積極的に外に出る。

☆コミュニケーション能力が有る。

- ・話しかけやすく笑顔で対応できる。
- ・相手の要望に的確な対応ができる。
- ・相手(利用者・当局など)にわかる言葉で話せる。
- ・同僚と協調しながらも、自分の意見が言える。
- ・できれば手話ができ、外国語が話せる。

☆ I Tに詳しく強い。

- ・レファレンスにすばやく確実に対応できる。
- ・HPやメルマガなどが作れる。
- ・新鮮で確かな情報を見つけることができる。また、その方法を知っている。
- ・他機関とのネットワークが確実にすぐ組める。

☆表現能力が有る。

- ・図書館のPRができる。
- ・広報誌、HP作成・書評などができる。
- ・議員や行政幹部向けに働きかけができる。  
(例・行政資料を届ける。図書館利用講座の企画。チラシづくり)
- ・利用者への苦情に速やかに的確な判断ができ、キチンと文章で答えられる。

☆企画力がある。(柔軟な発想)

- ・入りたくなる図書館の雰囲気作りができる。
- ・図書館サービスの可能性を広げる柔軟な考えができる。  
(例・コンサート・生活相談・料理教室・科学遊びなどで本と本・人と本を繋げる)
- ・時代を先取りする目線がある。
- ・イベントで人を呼び込む工夫ができる。(企画のおもしろさ、チラシのつくり方、キャッチフレーズのつくり方)
- ・本を読みたくなる書棚の工夫ができる。

【館長に望むこと】

- ・例えば「図書館の自由」とか「図書館の質」がないがしろにされそうな時、図書館の自由や質の高いサービスを守るために闘い、発信し、当局や市民を説得する努力をする。
- ・自分がいなくなった後のことまで視野にいれ、長い目で図書館の発展を考える。
- ・職員を信じ、また、職員から信頼されている。
- ・カウンターに立ち、利用者のニーズに敏感。
- ・専門知識があり研究を怠らない。
- ・市民や利用者と適度な距離感で、信頼関係を築きながら協働できる。
- ・図書館の外にも人脈がたくさんある。地元商工会・観光協会・学校などと積極的に連携しイニシアチブがとれる。

個人の力量が頼りではなく、組織として質の高いサービスが提供でき、効率よく継続しながら機能する図書館。誰もが笑顔で気持ちよく仕事できる職場環境と図書館を支援する社会体制が大切。